

漁海況月報

令和6年11月7日
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況

○ 黒潮流路

10月30日の人工衛星画像によると、黒潮は大蛇行流路を継続し、大王崎沖北緯31度付近から石廊崎沖北緯34度へ向かって北上するA型流路となっている(図1)。

○ 渥美外海の状況

黒潮の北上部は、渥美外海へ接近傾向にある。渥美外海沖合の海面水温は、黒潮の北上部から渥美外海の沖合へ暖水が波及している影響で、高温傾向が続いている。

○ 予想

現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡(名瀬-西之表)の潮位差は減少傾向にあり、2023年春期から続いた高水準傾向から平年並みの水準へ移行しつつある。加えて、潮岬沖の冷水渦の規模が大きいことから、今後大蛇行流路が継続すると考えられる。

(参考: 潮位データを用いた黒潮モニタリング; <https://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/time2.html>)

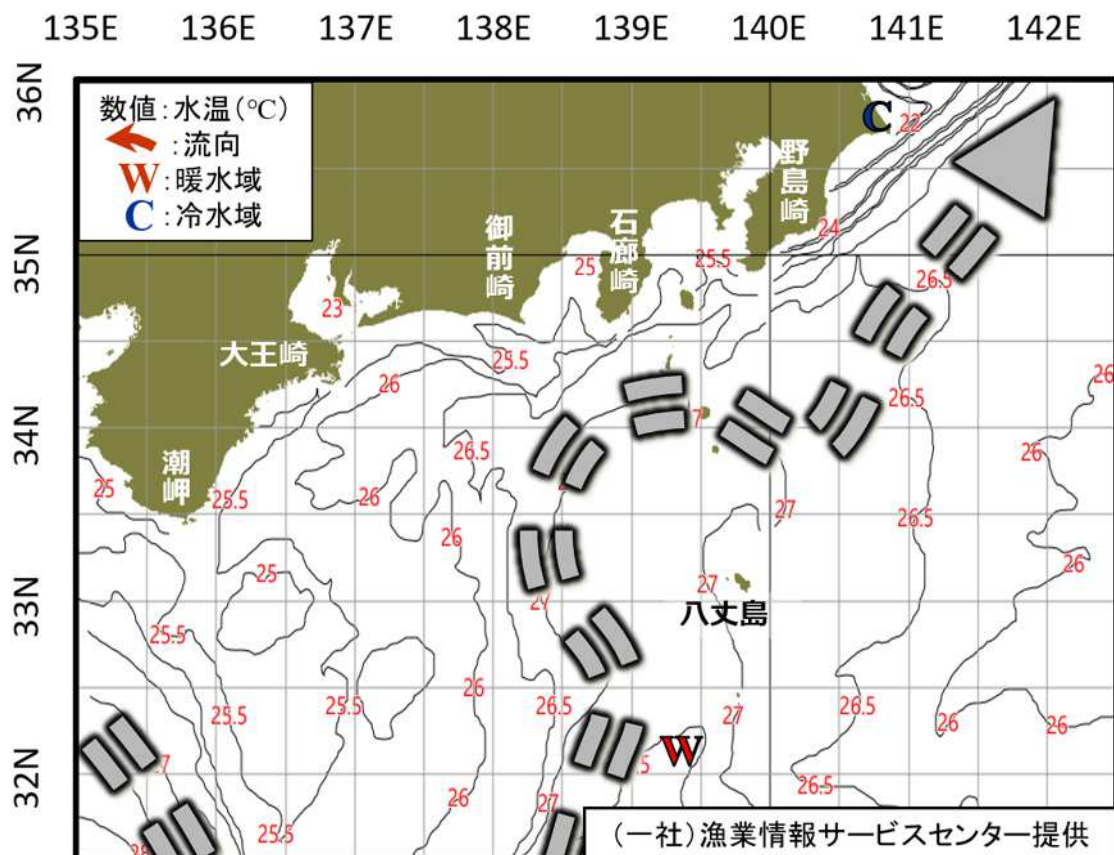


図1 海況の現況[2024年10月30日]

2 イワシ類

(1) シラス

しらす連合会の10月の出漁日数は5日で、1カ統あたりの1日の平均漁獲量は7～22カゴであった(図2)。

カタクチシラスの大きさは、10月2日(約20カゴ/統/日)は、2.3～3.5cmの個体が多く、内湾と外海に差は見られなかった。10月31日(10カゴ/統/日未満)は、内湾と外海でシラスの大きさに差が見られ、内湾で大きく、外海で小さい傾向にあり、内湾では2cm未満の小型のシラスは見られなかった(図3)。

10月のシラスの月計漁獲量<速報値>(72トン)は、前年同月(245トン)および平年(過去10年平均739トン)を下回った(表3)。

10月の卵・稚仔魚調査結果から、卵は、伊勢湾北部の愛知県側と湾口付近、三河湾の西部湾奥で多く、仔魚の採集尾数は全体的に少ないものの、伊勢湾中南部で相対的に多く採集された(図7)。

伊勢湾の卵採集数(295個)は、平年(184個)を上回り、仔魚採集数(15尾)は、平年(55尾)を下回った。

10月の漁場形成状況が悪かった原因として、卵は平年以上確認されているが、仔魚は少なく、生残状況が悪かったことが考えられる。さらに、10月12日の衛星写真では、内湾水が志摩半島側へ流出しており、渥美外海での漁場形成を阻害していたと推察された(図4)。

一方で、気温の低下に伴い内湾水は、低塩分低温となり、高水温高塩分の外海水との境界に、熱塩フロントが形成され始めている(図5)。今後は、季節的に河川からの流入量も減少していき、このフロントの形成により、内湾の卵・稚仔が外海へ流出しにくい海況となり、内湾で漁場が形成する可能性が高まる。

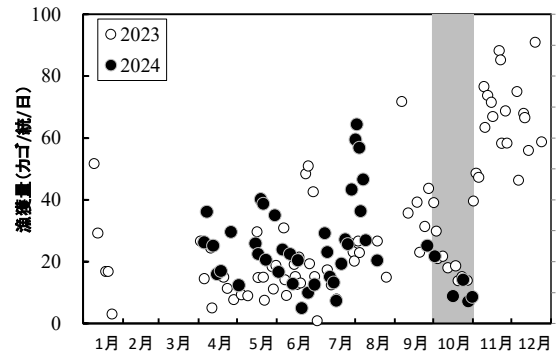


図2 シラス CPUE の推移

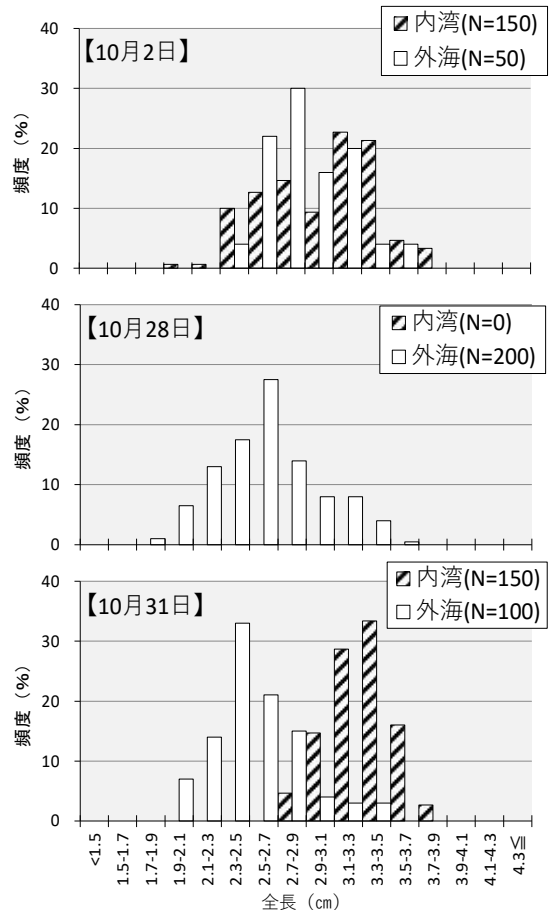


図3 カタクチシラスの全長組成

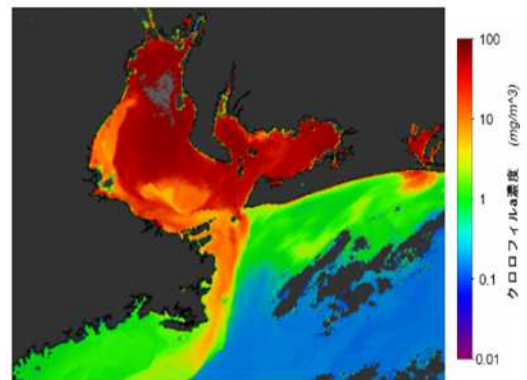


図4 しきさいによるクロロフィルa濃度分布* (2024年10月12日)
*愛知水試ウェブページ 海況速報(令和6年10月14日号)より

不漁年であった2022年では、12月になるまで内湾に漁場が形成されなかった。12月に漁場が形成された時の海況をみると、内湾に外海水が流入し、内湾水と外海水の境界に漁場が形成され、1カ統あたり30~50カゴの漁獲があった(図6)。なお、その時のシラスの大きさは1~3cmと小型であった。外海の湾口付近に分布していた仔魚が湾内への流入に合わせて、移入してきたことが考えられた。

今後は、内湾での海況安定化に伴う漁場形成に加え、外海から仔魚が輸送されることにより漁場が形成される可能性があるため、海況に引き続き注視していきたい。

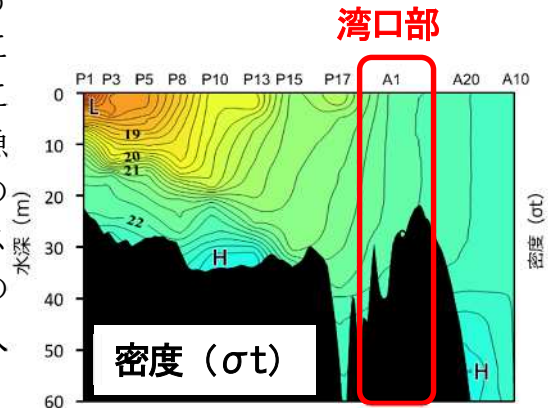


図5 密度の鉛直断面図
(2024年10月21、22、24日)

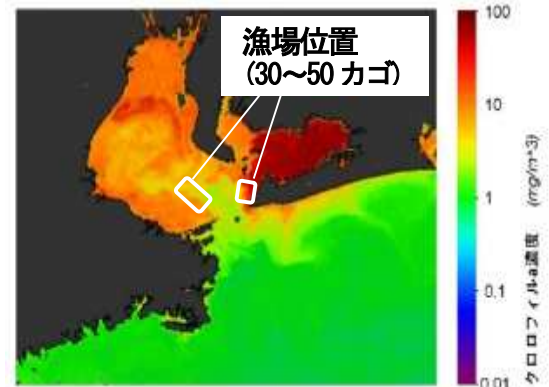


図6 しきさいによるクロロフィルa濃度分布*と漁場位置 (2022年12月9日)
※愛知水試 海況速報(令和4年11月9日号)より

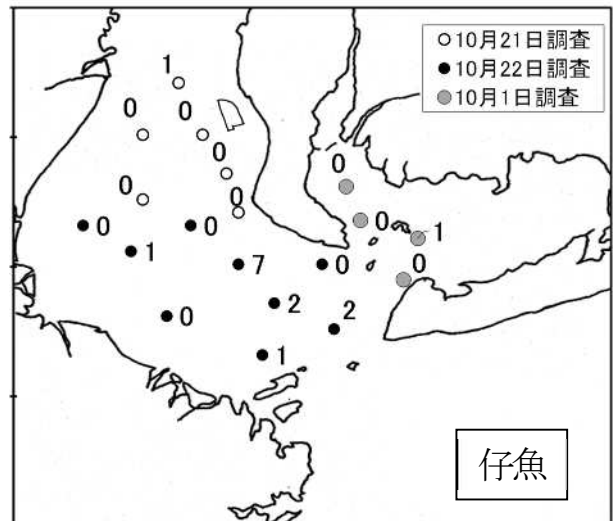
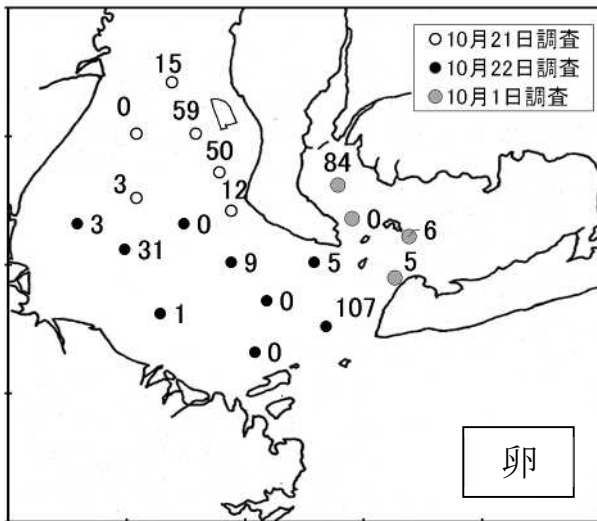


図7 改良型ノルパックネットによるカタクチイワシの卵・仔魚の総採集数
(2024年10月1,21,22日(内湾))

(2) カタクチイワシ・マイワシ (未成魚・成魚)

ぱっち網は10月12日以降、シラスの不漁を考慮し、産卵中のカタクチイワシ成魚の漁獲を抑制するため、三重県漁業者と調整の上、操業回数を週3回から週2回に削減した。

10月の出漁日数は7日であった。10月2日から自主禁漁としていた三河湾奥を解禁したが、魚影はなく、三河湾では佐久島南や東、武豊沖で、伊勢湾では空港島沖から内海沖で漁場が形成された。魚種は、カタクチイワシ主体でマイワシは混獲程度であった。10月30日に空港沖でカタボシイワシ(体長約13cm。大きさは昨年同時期並み)が2024年で初めてまとまって漁獲された。

1日1ヵ統あたりの平均漁獲量は、カタクチイワシは3~5トン(11日のみ14トン)で、マイワシは混獲程度となっている(図8、9)。

10月の月計漁獲量<速報値>は、カタクチイワシ(821トン)は昨年(1,310トン)及び平年(1,293トン)を下回り、マイワシ(6トン)も昨年(86トン)及び平年(1,759トン)を下回った(表4、5)。

2024年のカタクチイワシは大型の個体が多く、生殖腺熟度が高い状態を維持している印象があり、漁業者や加工業者からも同じ意見をよく聞いた。実際に過去のデータと比較すると、例年は8~10月にかけて低下するKGが、2024年は高水準を維持していた(図10)。

この原因が、シラスの生残の悪さを受けた生物学的な応答か、これまでとは異なる再生産特性を持った群に変わったかは現状では不明である。

ぱっち網の出漁制限による加入管理は、例年以上に効果的なものと思われる。

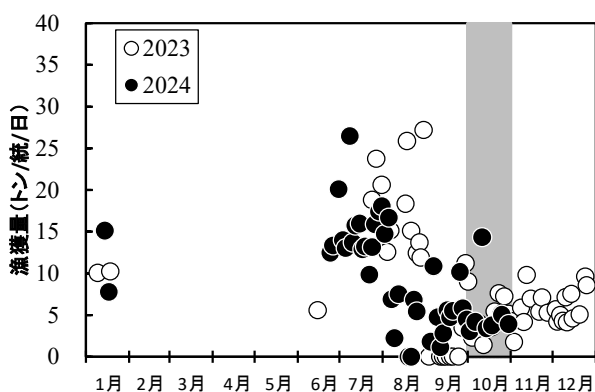


図8 カタクチイワシのCPUEの推移

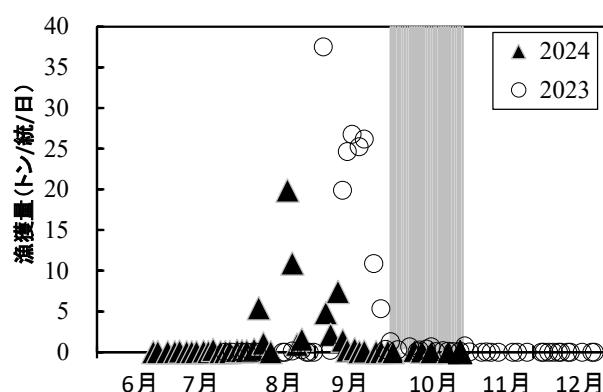


図9 マイワシのCPUEの推移

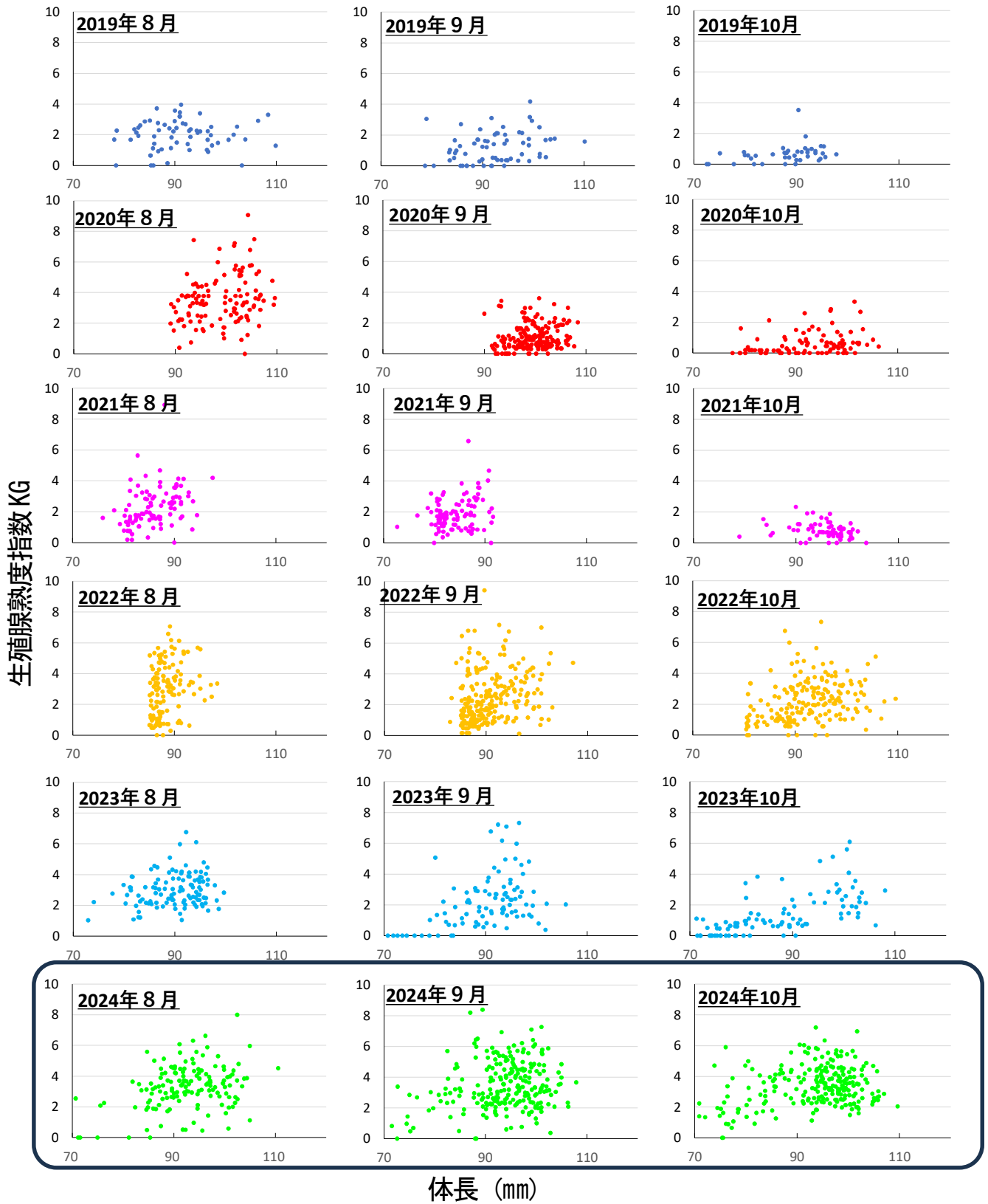


図 10 2019～2024 年の 8～10 月におけるカタクチイワシの生殖腺熟度指数 KG の推移

※2022年9月の調査定点は3定点。

表1 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数(15点合計)

※2024年4月の調査定点は2定点。

(単位:個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0	欠測	0	0	0	497
2019	0	0	62	39	57	29	97	58	54	0	0	0	396
2020	0	0	0	1	0	116	30	89	11	13	3	0	263
2021	0	0	24	46	25	186	88	25	17	0	0	0	411
2022	0	欠測	23	1	203	212	247	351	5	0	0	0	1,042
2023	0	0	0	1	3	82	130	12	89	欠測	5	0	322
2024	0	欠測	0	0	欠測	214	117	4	6	欠測			341
10年平均	0	0	104	153	68	107	118	68	48	25	1	1	686

表2 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数(15点合計)

(単位:個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360	70	欠測	41	62	-	1,036
2019	-	-	-	0	70	2,518	2,593	627	52	37	118	-	6,015
2020	-	-	-	506	6,126	4,561	1,442	4,698	735	211	6	-	18,285
2021	-	-	-	2,985	1,227	2,258	1,765	2,607	746	212	25	-	11,825
2022	-	-	-	559	1,624	756	2,522	2,575	435	462	336	-	9,269
2023	-	-	-	0	132	3,256	2,004	5,798	1,216	欠測	29	-	12,435
2024	-	-	-	4,252	4,893	4,120	371	1,069	116	295			15,116
10年平均	-	-	-	406	1,166	1,506	1,241	1,985	385	184	174	-	6,991

表3 愛知県シラス類漁獲量

※10月31日現在速報値

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	379	553	797	295	660	5,730
2019	0	7	389	676	1,472	1,349	884	1,119	1,514	45	9	302	7,767
2020	0	10	219	428	658	1,629	590	1,933	131	493	148	492	6,731
2021	0	2	101	1,295	631	676	392	48	1,098	1,397	743	317	6,700
2022	0	1	3	253	1,150	831	9	407	82	158	4	335	3,232
2023	145	0	10	194	243	595	169	135	335	245	1,239	646	3,956
2024	4	1	22	272	380	206	284	432	45	72			1,717
10年平均	16	2	92	747	1,509	711	281	525	471	739	687	467	6,248

表4 愛知県カタクチイワシ漁獲量

※10月31日現在速報値

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,045
2018	0.3	7	0	12	33	2,795	1,654	945	1,294	149	13	40	6,943
2019	172	38	32	2	0	1,339	4,128	1,692	1,432	2,564	803	515	12,717
2020	4	35	27	0	0	0	2,698	2,115	1,620	2,924	1,920	2,117	13,462
2021	302	48	0	0	0	0	691	1,062	719	766	1,674	1,593	6,853
2022	505	0	0	0	0	0	532	2,453	3,462	1,118	1,055	1,044	10,169
2023	81	0	0	0	0	13	1,501	3,691	574	1,310	895	883	8,949
2024	160	0	0	0	0	1,102	4,600	1,297	1,408	821			9,387
10年平均	184	37	14	82	135	1,628	2,994	2,208	1,882	1,293	1,068	875	12,400

表5 愛知県マイワシ漁獲量

※10月31日現在速報値

(単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	61	0	0	0	0	2,605	5,555	4,999	4,701	2,944	1,103	2	21,970
2019	210	40	4	0	0	1,311	2,634	3,886	1,417	152	256	7	9,917
2020	0	0	0	0	0	0	3,502	1,995	2,351	174	15	5	8,042
2021	0	0	0	0	0	0	6,128	4,125	3,476	703	35	5	14,471
2022	0	0	0	0	0	0	2	1,666	179	791	52	0.15	2,690
2023	0	0	0	0	0	0	0	10	4,195	86	18	0	4,308
2024	0	0	0	0	0	0	18	944	414	6			1,382
10年平均	42	12	0	0	23	596	2,661	3,074	2,877	1,759	800	333	12,177